

運行管理技術

自動運転車両の利便性を高めるMaaSシステム～運行管理～

● (株)ティアフォー 竹内慎吾、磯庸介、飯田祐希、桑原国仁、森本潤一

概要

自動運転車を利用したモビリティサービスを実現するには、自動運転制御技術の他、自動運転車と接続した運行管理技術が求められる。本研究では、リアルタイムの車両モニタリング、利用者の要望に基づく配車スケジュール管理、走行履歴やエラーログの確認等ができる「フリートマネジメントシステム(FMS)」を開発した。これにより、遠隔地からの運行状態の可視化、巡回等のダイヤ・スケジュールのきめ細かな運行管理を可能とした。モリコロパークでの実証実験では20日間の長期運行を行い、本システムでの安定した運行サービス提供の基準(「サービス提供現地での人間系による介入が稼働時間の5%以下」と設定)を達成していることを確認した。

特長

- 巡回バスモデル運行管理 ■ オンデマンドバスモデル運行管理
- FMS機能例：自動運転車両モニタリング、巡回経路表示、地図更新履歴閲覧、走行履歴閲覧
- FMS API：車両運行事業者等が既に保有している運行管理システム等へ組み込み可能
- モリコロパークにて20日間、総運行距離1,222kmにて、現地での人間系による介入が、稼働時間の0.82% (基準：5%以下を達成)を確認



FMS コンソール配車管理画面

■ お問い合わせ先 (株)ティアフォー 事業本部 竹内慎吾 磯庸介
e-mail: shingo.takeuchi@tier4.jp yosuke.iso@tier4.jp 電話番号: 03-4520-2315